

Go-Ahead

kenshu@toyono-jinijkyo

1

平成 29 年度 (2017 年度)

中堅教諭等資質向上研修 開講式

今年度は、126 名の先生方が豊能地区の中堅研を受講されます。この中堅研通信は、豊能地区で行う共通研修のアンケートをもとに発信いたします。研修の中で、何を考えどう感じたのか、一人ひとりが研修を振り返るとともに、受講者の皆さんの課題解決のきっかけになればと願い作成していきます。市町実施研修や学校での研修につながれば幸いです。

☆ワークショップ ～目標設定に向けて～☆

初任の頃とは違って、様々な学校で経験を積み重ねてきた同期の存在は、これからの教職人生の大きな支えの一つですね。それは、皆さんが潜在的に持っている「つながり」です。

他校の学校の状況を聞いて、『子どもを取り巻く環境や学力、どこも同じだなあ』と思う部分と『学校によって課題の大きさが違うなあ』と思う部分があった。しかし、ワークショップを通じて感じたことは、どの先生方も子どものため、学校のためを考え頑張っているということだった。他市のみならず、班同士の交流方法も面白かったので、授業で取り入れたいと思いました。

改めて学校全体を大きく見据えて考える機会を与えてもらい、自分自身の目標設定を考える手立てになりました。校内には同じ経験年数の先生方と話す機会が少なかったため、前向きに考えることが出来た。

若手とベテランをつなげていくことが一つと感じた研修でした。

教師間のチームワークはたくさんの先生方が追求されているとわかり、心強くなりました。4つの本の『本物』というキーワードはとても心に残りました。学び続ける教師でありたいです。

研修にあたって『自分がどんな学校にしたいのか』を改めて考えること、またそれを他校の先生と意見交換することで新たな立場、視点から考えることが出来た。今の自分の学校の課題点にも気づくことが出来た。本気、本音、本物、本当の本を読むことを忘れず今後も私自身が取り組んでいこうと思った。

目標を設定するために①教職員間の改善点を把握すること②『生徒同士が高めあえる学校づくり』『いじめのない学校』など目標の実現のためには一人の力ではなく学校の教職員と協力し、長い時間をかけて導いていくことが必要である。授業に関する研修が増えると嬉しいです。(保健体育)

今後のスケジュール等がわかり、見通しが持てました。

同じ班の先生方の話を聞いて子どもに対する接し方や学校づくりに対する熱意を感じ、さらにやる気になった。

『同僚性の体得』は達成できた。自校の課題を話せたことで職場の良さを発見することもできた。元気が出ました。

この通信を手にもされる頃には、それぞれの中堅研の目標を設定されていることと思います。

研修に行くのもためらうことが多かったですが、今年はこの機会をレベルアップするいいチャンスだと思って活かしていきたいと思っています。

子どもたちの笑顔のため、居心地の良い学校にするため、教師間の橋渡しのような存在になりたいと思いました。

☆番外編☆

今回のワークショップのねらいにはありませんでしたが、新たな学びを感じた先生方がおられました。日頃から問題意識を持っている人は、同じ内容の研修であっても学びの質が異なります。

専門家の講義を聞く、特に小中一貫教育についての研修ができれば幸いです。

職員同士がつながるためにスポーツや音楽、集団づくりなどの楽しい、ためになる研修が求められると思いました。

人と人が「つながる」には、**ねらい**と**しかけ**が必要です。日々の教育活動や教員間の連携においても**ねらい**と**しかけ**を意識することで組織は変わります。そのためには物事を**視覚化**することも必要です。お互いの思いや考えがより正確に伝わるよう、コミュニケーションを積み重ねて学校を動かしてください。